

第2回PTA部会 議事録

(1)日 時：令和5年12月19日（火）午後7時より、（教育会館 第4研修室）

(2)参加者：委員（9名）（1名欠席）、事務局11名

(3)内 容

①部会長あいさつ

②資料説明及び意見交換

- ・第1回PTA部会の内容について
- ・スクールバスに関する考え方について
- ・スクールバス通学について（案）

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（第1回PTA部会の内容について）

部会長 ・レジュメに沿って進めてまいりたいと思う。それではまず、第1回目のPTA部会での協議された内容について事務局からの説明をお願いしたい。

事務局 ・第1回PTA部会での内容を口頭で説明。

昨年度までの経緯を説明

①スクールバスの運行方法

- ・市の公共交通機関によるハブ方式と直行方式を検討し、直行方式を軸に進めるが地区や状況によってハブ方式の可能性も残しておく。

②スクールバスの運行ルートについて

- ・ジオアリーナから3km以遠を対象に考える。
8ルート（案）（バス停までを1kmと想定）
10ルート（案）（バス停までを500mと想定）

今年度の案を説明

①基本的な考え

- ・勝山高校周辺の交通状況
- ・雨や雪の際の保護者送迎の負担軽減

②具体的提案

- ・スクールバスの対象範囲をジオアリーナから1.5km以遠
- ・12ルート案

③意見

- ・事情によりスクールバスに乗れない生徒もいる
- ・自転車も許可してほしい
- ・それでも送迎の生徒もいる（ジオアリーナの駐車場を利用）
- ・公共交通機関との併用を考える

部会長 ・第1回目の会議のポイントは以前は3km以遠を対象として考えたが1.5km以遠を対象にした点ではないか。12ルートということでバスの台数や1.5kmの妥当性もあった。第1回目の内容について補足等あれば伺いたい。

- ・よろしいか。ではスクールバスに関する考え方について事務局から説明していただきたい。

（スクールバスに関する考え方について）

- 事務局 ・参考資料スクールバスに関する考え方（スライド資料）を説明
 ①公共交通（バス）の種類
 ②勝山市の公共交通（バス）
 ③スクールバスの検討
- 部会長 ・第1回目でも話があったと思うが専用バスを仕立てることに加えて必然性を考えた時に公共路線バスとの併用を検討していく必要があるということだった。まずは市内で走っている公共交通バスがどのように利用されているかを説明いただいた。今の説明の中で質問や不明な所があればお願いしたい。
- 委員1 ・8時前と8時以降に分けているのは利用者の数の問題か。
- 事務局 ・朝は目的地がたとえば病院や駅に決まっているので定時定路線で運行した方がいいが、午後になると行きたいところがちがってくる。
- 部会長 ・デマンドバスと定時定路線バスとの区別はご理解いただけただかと思う。他にはよろしいか。では今の公共交通の状況を踏まえて新たな案を事務局より説明をお願いしたい。
- （スクールバス通学について（案））
- 事務局 ・資料1．スクールバス通学について（案） を説明
 ・基本的な考え、具体的な運行方法、ルート案、今後の方向
 ・資料2．スクールバス利用人数予測（案） を説明
 ・バス（1.5km以遠）令和9年4月段階での人数予測
 ・資料3．スクールバスルートと乗車人数見込（案）
 ・資料4．勝山市立新中学校スクールバス路線図（案） を説明
 ・バス停、通過距離、生徒数、車両、路線名、距離、走行時間
- 部会長 ・路線バスありきの考え方ではなくスクールバスを用立ててそれを公共バスとして利用するという考え方の方が近いように思える。
- 事務局 ・考え方としてはその方が近い。
- 部会長 ・従来ある公共交通バスの路線をそのままスクールバスに提供するのではなくてスクールバスのための路線図ができあがって一般の方も利用するという形でよろしいか。これまでの議論と違う点は停留所の数になるのか。
- 事務局 ・これまでは地区の集落センターや近いところにバス停を設置できないかという意見もあった。実際車両で走ってみると通れない道があった。法律でいうと一番大きい幅2.5mの車両には道路幅が5m必要になる。その道路幅がない場所もあった。このようなルートで基本的に考えていっていいのかを承認いただいて業者や警察や運輸支局と相談して運行が可能かを詰めていく必要がある。
- 部会長 ・今の案について質問があればお聞きしたい。勝高生が除かれた形になっているがどうか。
- 委員1 ・勝高生は分からない部分もあるので一旦これで進めればいいのかではないか。
- 部会長 ・一般の方の乗車の可能性はどのくらいあるのか。現在の朝の時間の一般の利用状況はどうか。
- 事務局 ・1便あたり多くても数人という状況にある。
- 部会長 ・利用としては勝山病院などになるのか。
- 事務局 ・駅、サンプラザ周辺が多い状況。
- 部会長 ・今の乗車率で行くと一般の方が入ってきても問題はないということよろし

	いか。
委員 2	・中高生は無料なのか。
事務局	・今のところは無料でいきたいと考えているが一般の方はどうするのかということもある。中学生は無料にしたいという思いはある。
事務局	・基本的に今の公共交通についても未就学児は無料になっている。運輸支局との取り決めになるので中学生まで無料にしようかという協議が整えば可能かと考える。
委員 3	・中学生と一般の方の話だったが、勝山市民だったら誰が乗ってもいいのが一般だと思う。高校生が一般だと考えるとバスに乗れることになる。中学生と勝高生が兄弟でいたら中学生はバスに乗って勝高生は親が車で乗せていくのか。一般の人が乗れるバスにするのなら勝高生は乗れないのか。
事務局	・事務局も事前に想定している。現状乗られている方は高齢者がほぼで数人になる。高校生、大学生、社会人も一般に変わりはない。まずはルートを決める必要がある。今後要望調査をして実際に中学生でも乗らない生徒もいるので高校生を乗せても1台で行けるのか、車両を大きくするのか、もう1台出すのかを検討していかなくてはいけない。
委員 4	・平泉寺は大型だと冬は狭くなるので除雪をお願いしたい。
事務局	・今のような質問等グループに分かれた時にまたいただければ答えられるかと思う。
委員 5	・帰りはこの反対になるのか。
事務局	・基本的にはそのようになる。
委員 6	・例えば中間テストで早く終わった時は同じようなイメージになるのか。
事務局	・年に数回、中体連の大会とかもあり朝は通常だが下校が早くなることについては今後検討していきたい。
部会長	・以前から土日の運行についても話があったが、これがある程度決まってくれば運用方法について協議をしていきたい。
委員 7	・子どもが乗れなかった場合、親がルート上の先のバス停まで送って行って途中乗車は可能か。事前に予約をしないと乗れないのか。
部会長	・まだそこまでの議論にはしていない。今日はあくまでもルートが中心になる。その上で今のようなことがたくさん出てくると思うので今後いろいろ疑問点とかを話していきたい。
事務局	・今のような案件だと基本的には中学生は乗れるところで乗ればいいのかと思うが乗ったときの乗車管理は検討する必要がある。生徒が不利にならないようなことにはしたい。乗る人、乗らない人の調査はするが完全予約制ではないので乗ったり乗らない日がある。乗る位置が違うことも想定されるので管理について今後の検討課題とさせていただきたい。
部会長	・他に何か質問等はどうか。無いようであれば各校区に分かれて疑問等話し合いをお願いしたい。
	(校区ごとに分かれて話し合い)
部会長	・では校区ごとで出たご意見等をうかがいたい。まず勝山南部中学校区からお願いします。
事務局	・南部中学校区で出た意見を述べさせていただく。運行方法については、一般の人が乗るのは反対ではないが高校生が乗れなくなる心配がある。遅刻者はここでは考える必要はないのではないかと。中学生だけで乗せてもらえるのは

安心だが高校生がいる保護者もいるので高校生が乗れないとなると2人とも車で送っていくことになるのではないかと。バス停に屋根がないのでぎりぎりに乗ることになるので早く出発することがないようにしてほしい。という意見があった。路線ルートについては平泉寺ルートは時間がかかるので猪野瀬公民館をなくすことで他のルートと比べて平準化できないか検討してほしいという意見があった。その他としてテスト運行をして子ども達にバス利用のPRをしてほしい。クマの対応や除雪をしっかりとってほしい。バスがどこにいるかわかる工夫があるとよい。という意見があった。

部会長 ・南部中学校区からの意見だったが一緒に協議した他の方から補足はないか。それでは続いて勝山中部中学校区から発表をお願いしたい。

事務局 ・中部中学校区では、北谷線と野向線について検討をした。ルートに関しては特に大きな問題はない。北谷線と野向線はどちらも勝山病院を経由する形になり、一般の人は病院に行く人が多いのではないかと。総括して中部中校区は距離的なことも含めて大きな無理はない計画であるということだった。細かい計画について今後調整が必要だという意見があったので紹介する。GPSの運行状況の管理は定時運行になることで本当に必要かどうか検討が必要ではないか。子ども達は帰りも違う場所で乗降していいのか。自由ではないか。ダイヤのある公共バスの利用イメージになる。他市では当たり前だし子ども達が慣れていくことも勉強ではないか。長い時間バスに乗ることで体調不良者が出たらどうするのか。体調によって親が送迎することもあるが子どもが慣れていくことも期待したい。という話があった。

部会長 ・同じく中部中学校区で何か追加でご意見のある方はお願いしたい。それでは最後に勝山北部中学校区の発表をお願いしたい。

事務局 ・北郷線は坂東島と伊知地の間にもう1カ所バス停があった方がいいのではないかと、鹿谷線では西光寺方面はもしかすると鹿谷2の路線の方が近いのではないかと、荒土線は布市や清水島で乗る方がいるという意見があり今後転校生があつてバス停が必要になる場合もある。急なルート変更はできないかもしれないのである程度加味してルート上に乗せられるといいのではないかと。遅れる場合は仕方がない。携帯電話を持っていないから遅れても連絡手段がないことを考えて最初から車で行く人もいないのではないかと。クマの問題があつてバス停で1人になるのはどうするといいいか。セキュリティの話が出たがカードでもいいし、着いたら分かるシステムでもいいのではないかと。という意見が出た。

部会長 ・同じく北部中学校区の方で追加の意見はないか。3校区で貴重な意見をいただいた。今後いろいろと検討する内容があると思うが、停留所はある程度多く設定しておいた方がいいのか。それとも臨機応変に組み換えが必要だということか。

事務局 ・停留所については例えば北郷だと一本線のルートなので最初からある程度想定しておけば、そこは通過になる。鹿谷のように東遅羽口に出てきたときにどうするか。運行上許認可を取らなければならない部分があるのでどうしようかということはあるが、北郷線のように一本のところは作っておいてもいいのではという意見だった。

部会長 ・今の各校区の意見で事務局から何かコメントは有るか。

事務局 ・地元のことだったので地理的なこともわかって建設的なご意見をいただいた。だいたいこのルートで行けるように思えた。これを基にバス会社と協議

	<p>をして本当に通れるのかどうかに進めていけるのかなと思った。本当に貴重な意見をいただいた。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の目的はこの路線図に沿ってのルートが運用可能かというところだったと思う。その点についてはおおむね了解いただいたという感じを受けた。それ以外の運行方法およびその他の点については今後さらに事務局で検討をいただいて次の段階に入っていただく形でお願いしていいのではないかと。そういうことで皆さんご了承いただけるか。 <p>(頷き多数)</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の協議の方はおおむね了解いただいたということでこれで終わりたいと思う。最後は事務局にお願いする。 ・たくさんの貴重なご意見をいただき感謝。今回路線バスのルートを活用したバスの通学方法をお示しした。今後これを基本にして考えていきたいと思うので皆様のご意見をよろしくお願ひしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から1月19日に総務部会と学校運営部会の合同部会を予定している。新しい制服の候補をすべて大ホールに並べるつもりでその中から何点かに絞っていただく。PTA部会だけに所属しているが見たいという委員の方がおられれば大ホールの方に来て見ていただければと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは長時間にわたりご協議いただき感謝。以上で第2回のPTA部会を終了させていただきたいと思う。本日はありがとうございました。

資料1. スクールバス通学について (案)

資料2. スクールバス利用人数 (案)

資料3. スクールバスルートと乗車人数見込 (案)

資料4. 勝山市立中学校スクールバス路線図 (案)

参考資料. スクールバスに関する考え方 (スライド資料)